京城新報

人の一生は重き荷を負うて遠き道を行くが如し急ぐ可らず

明治四十四年紀元二千五百七十一年
本紙定價　一枚金三錢▲一ヶ月前金九十錢▲三ヶ月前金二圓六十錢▲六ヶ月前金五圓▲一ヶ年金八十錢▲郵税一ヶ月十五錢
月曜日及び大祭日の翌日は休日（日刊）
廣告料金　▲五號活字十七字詰一行金五十錢▲欄外別廣告五號活字十七字詰一行金七十五錢
發行兼編輯人　高木久太郎
印刷人　松久勝一郎
發行所　京城西小門通　京城新報社　電話大三番
仁川支局　仁川本町三丁目
東京支局　東京市京橋區南佐柄木町七番地

群山俄道中記

ソ便

山雲水神生

臨益水利組合長　藤井寛太郎氏の談

臨益水利組合組織の動機及經過は大要演べましたから、更らに工事完成後の利益について一言申しませう。

工事完成後の利益

組合地域内に於ては從來一反歩の普通の收穫は、玄米僅かに三四斗位に過ぎず五斗以上の收穫は殆ど絶無と云つても差支なかつたのですが、工事完成後に於ては玄米二石三四斗以上三石位の收穫を得ることは至難でありませぬ、なぜなれば日本では旱でも年に饑饉なしと云ふのに、朝鮮では反對に兩年に饑饉なしと云ふ程夫れほど灌漑水が不足であるので、今回の如き完全なる灌漑設備の完成したる以上は、施肥の改良と相俟つて前述の如く玄米二石内外の收穫を得ることは難事でないのであります、そこで今後に於ける最低增收額を約一石と消極的に見ても、灌漑區域の總面積三千町歩に對し三萬石の增收を見る次第で、平均米價一石十圓として一箇年實に三十萬圓の利益がある之に種子及耕作法の改良、籠叺の製造貯水池に於ける養魚、植林等別項の如き積極的組合利用法に依つて得べき副業の利益を十萬圓と見積り、總額實に四十萬圓の生產力は確に本工事完成に依つて受くる所なる利益と云ふべきものであります。

朝鮮に於ける農業に就て改良すべき點は枚擧に遑が無いのですが、小作鮮人自身に何等の自覺無く、世の進運と隔離して居るので、其改良は區々たる二三地主の努力によつては到底其目的を達することは出來ない、そこで今回の如き水利組合の成立を基礎とし、組合地主一致の下に小作鮮人を指導して諸種の改良を斷行するに於ては其目的を達することに左程困難でない、此點に於て組合の積極的利用の効果は決して少なく無いと思はれる、少しく之を列擧して見れば

第一　種子の改良、在來の朝鮮稲はどんな肥沃な良田に栽植しても、一反歩の收穫二石を越ゆる事は容易に無い、然るに最近數年間當地方農場に於て試作成績に徴すれば、新潟縣の原產高千穗（原名高大黑）熊本縣原產早神力（原名二千本）の如きは三石乃至四石の收穫がある、特に高千穗は旱、水、虫害に對する對抗力が中々強いのみならず、當地方に於てまゝある秋期の強風霜害に堪ね、加之小作鮮人の最も煩ひとする雀の害を受けない等、當地方農場の種籾としては誠に比類なき絶好の適良種であるので、今後は組合地域内に於ては組合員協約の下に此高千穗及び早神力の二種に一定し、各所に共同苗代を設けて米種の改良統一を爲す積りであります。

第二、綠肥の一齊栽培、灌漑設備の竣工により從來の最大痛患たりし旱害水害は愈々免るゝ事になつたが、從前の如き施肥の方法を以て數年耕作を繼續すれば地方は漸次衰へて來るのは當然である、茲に於てか施肥改良の必要は當然の歸結であるが、去ればとて貧弱なる朝鮮農民に對し直ちに高價なる肥料の使用を強いても夫れは到底事情が許さない、そこで組合地域内に於ては廉價にして比較的有効なる綠肥を用ふる事と爲し、綠肥用大豆及紫雲英を一齊に栽培せしむる考である、處が此紫雲英の栽培について一つ困つた事がある、夫れは外でも無い一体紫雲英の繁殖は土中にある一種のバチルスの作用であるが其バチルスが朝鮮の土壌には無いと云ふ一事で、隨つて其儘に播種しても繁殖しないから其バチルスの多量に含まれた土壌分を移入撒布して繁殖を計り漸次其土壌を隣地に撒布擴張して全体に及ぼす積りであります。

●土地測量の現況

土地測量事業は其開始以來着々進捗しつゝあるが今其現狀に關して聞く處に依れば大三角の本點測量は昨年六月着手以來本年三月迄に京畿道の一部忠北忠南の大部、慶北の一部慶南の大部等完成し更に平安南北の大部黄海の一部慶北の全部、江原の半部全北の全部等は現在着手中にして明年三月中に終了する筈にて本點測量終了後は更に補點測量をなす順序にて既に補點測量を了りたる場所は慶南忠北等にして慶北は目下着手中なるが十二月迄に完成すべく、其他の黄海、京畿、江原、全南北は八月以後着手し明年三月迄に補點を終了すべき更に小三角の完成したる部分は京畿の大半及慶北大邱附近にして慶南及忠清南北は現在着手中慶北の大部は九月より着手すへく何れも明年三月迄には全部終了すへく而して小三角測量を終りて始めて地積測量をなす譯にて既に地積測量の完成したるは京畿道の楊川、富平慶北の大邱、玄風清道、高靈の諸郡にして京畿道の始興、水原、振威、陽城、果川、仁川、金浦、通津、江華、喬桐、安川等は目下着手中なり此の如くして大三角本點は五組に別ち補點は十五組に小三角は三十一組に地積は江華島一班水原一班大邱一班に各區別して寒暑に關せず多大の不便を忍びて從事し居れるが之れが完成の曉には非常に立派なる地積圖を作製し得べしと云ふ

●慶尚北道内地人

慶尚北道管内に於ける最近調査内地人移住者數は戶數三千四百十四戶人口一萬六百九十七人にして男五千八百五人女四千八百九十二人なりと云ふ

●漢陽公園附近檢地

漢陽公園及び南山町公園一帶の地は其公園地に編入されたる大部分以外に於て個人有の地所少なからず中には廣大なる地域を私有地として鐵條網を以て限界を示し居るものあることが果して從來より個人の所有地なりしや否疑ふべき廉も少からず此際明瞭になし置かずば將來國有地を侵す者の生ずることなきを保せずとの理由の下に昨今當局者は同方面の土地所有者を立合の上檢地をなし所有者文記等に地積明記せられ賣買を確證し得る者は別として其他の國有林野に屬すべき部分を占有し居る者は此際斷然返還せしむべしといふ

●釜山水產不評判

釜山水產會社員及び仲仕の惡評は屢々耳にする處なるが彼等仲仕連は釜山水產會社が獨占事業なるを鼻にかけ仲買等と結托して漁夫が汗水流して漁獲したる生鯛の價を誤魔化し身分不相應の奢を極め居れる由なるが今回釜山に漁港設置と共に完全なる市場設置の事を漁夫一統齊しく希望し居れりといふ

外事一束

▲佛國　獨逸駐劄佛國大使は摩洛哥問題に付商議をなす。

▲獨逸　帝國千九百十年度決算一億千七百萬馬克の剩餘を生じ財政好況也。

▲土國　アルバニヤ問題に付モンテネグロ王の干涉を拒絕兩國關係益切迫。

▲墺國　議會總選擧の結果最も優勢なりし基督教社會黨敗北他黨派勝を占む。

▲海員　同盟罷業の英國に於ける狀態は船主側水夫側の要求を承諾すべし。

▲成功　佛國女優サラベルナール米國七ヶ月間收入百八十萬圓以上なりと。

▲米國　議會にては我東鄉海軍大將歡迎費として二萬圓支出の旨を決議す。

▲爆發　支那保定府火藥庫二十日爆發貯藏砲彈一切損失約十萬兩の損耗也。

▲清國　郵便部の全國鐵道軌制は英國式に據り幹線軌條重量八十五封度也。

▲不穩　清國川漢鐵道工事中止六千人の工夫賃銀仕拂請求不穩の狀況なり。

▲露都　に於て近日首相外相陸相大藏の四大臣の極東問題會議開かるべし。

▲極東　會議の終了後露國は二三列國の使臣に對す重大なる交涉を可爲と。

▲浦潮　斯德に於て鮮人の妻其夫を殺せし鄭仁萬を殺して夫の復讐をなす。

▲新聞　浦鹽斯德在留の鮮人雄鎭烈なる者週刊新聞大陽報の第一號を出す。

▲臺灣　の本期原料樹保護金は總督府より二百六十四万圓を下付に決せり。





召使れ初

第八十七回

黑法師

「すると今日れ久の手から、披露せられた秘密の文は、ろなたが遺失したものかのう」と若江は眉を顰めたり

「聊かも間違ひござりませぬ、封を開いて見たではござりませぬで、何事を認めあつたか、ろの邊存じござりませぬが、封のまゝ取り落したは斯う申す察、什麼やうとも御處刑なさせませ」

れ察は深く覺悟爲たる樣なりき、れ道は沈と考わね

「ほゝ、そなたが喃、そなた德右衛門に賴まれて、その一通持て來たと云ふちやのう」

「二言ござりませぬ」

「假初にもその身事うる主人に對し、不義の密書取次ぎをする、罪科免れ難い處、然し、德右衛門義理合ひ、斷る事に斷り離ね、持參のまゝ上つたは、同じ罪科といふ中にも赦すべき所がある兎角はれ取調べの上、一應れ廣敷れ役人衆へ届け置くわの」

「察の身に覺ねある事、察の一身什麼樣になりまするも、つゆ恨む所ござりませぬ、旦那樣夢にだに御存じなき事その邊事情よく御含み置かれまして……」

「心配は要らぬ、ろなたが眞心神々御存じあらすわの、と若江は胸を叩くやうに「されど此事、表立ち云ふに及ばぬれ役人衆れ呼び出しまで、そのまゝ捨て置くも關ね無い、万事は私の胸にわるで……」

「何事もあなた樣御心切を賴みます」と察は疊に額をすり付け、察の不調法から、旦那樣れ身に御難儀掛らせてはなりませぬ」

「皆心得てあるで……」と若江は云ひながら振り返る、れ道はれ察の美しき眞心、厚き忠義に感じたるらしく、垂れて襟元に、たら〳〵露ぞ掛りける

「旦那樣をれ助けござりませ、察の不調法ござります」

れ察は同じ事を繰り返し云ふ、れ道は重き頭を徐に擡げて

「察の詞、眞實とも覺わませぬ、私身にかゝる難儀を救ふ爲め、心にも無い事申し出いか氣に見ねまする、私名宛の密書、れ廊下に、落ち散りあつたもその密書、澤野樣の手に入つたも、私不運の致す處ござりまするで、れ處刑は私の身に受けまする、私の身を安穩に致す爲め、察の身を危うするは主の慈悲とも心得ませぬ、その儀もれ心に置かせられて……」

「いゝ〳〵」とれ察は平伏したるまゝ頭を掉て「旦那樣御存じあらせられぬ事でござります、察の身に不調法あつたは、神々樣よく御存じあらせまするで先刻申し上げる通りを、れ役人衆へ御執次なさせられ下さりませ、察の身を御庇陰ござりまする爲め、旦那樣れ身に、千萬金にも替ね難い旦那樣れ身に、取返しの付くまじき大事起つてはなりませぬ、萬事は若江樣御胸に此等の事情よく御含ませござりまして……」

「いやの、ろなた眞心はよく知つてわるちやが喃」とれ道は乘り出すやうに膝を進めて「斯うなるも運命ちやで、人間の身に掛る運命の可否、これは皆神樣れ指圖とある筈を、背いてはおいでの、そなたは私の無い後……」

「聞きませぬ何事仰せられても、聞きませぬ」とれ察は耳を塞ぎながら「若江樣、れ願ひでござります」

東京電報 (廿四日發)

▲**日獨條約の内容** 日獨條約の内容は日英日米の通商條約と略ぼ異なる所なく日本の要求は沿岸貿易永代借地權問題にて大體に於て我要求を容れ獨逸の要求は英米に讓步の外製鐵品藥品染料等及び獨逸の久しき問題なりし絹織物羽二重手巾漆器竹細工其他の減税を約せり

▲**御北行と準備** 東宮殿下には來七月十七日北海道御巡啓の途に就かせらるゝに付青森函館間海路は軍艦香取に決し香取艦は目下室内の消毒及び装飾を取急ぎつゝあり殿下御巡啓の御序を以て青森灣に於て擧行せらるゝ第一艦隊艦砲射撃演習を御覽あらせらるゝ筈

▲**進水式に御名代** 神戸川崎造船所にて建造中の二等巡洋艦平戸は廿九日午前八時進水式擧行に付北白川宮成久王殿下を御名代として差遣せらるゝ事となり同宮殿下は二十七日午後六時半新橋發列車にて同地に成らせらる

▲**貯金奬勵** 内務省は地方郵便貯金奬勵の爲め金森通倫氏に囑托し親しく各地を巡迴して貯金思想を鼓吹したる結果昨今に至り其成績を認むるに至り一人の貯金額平均二圓三十三錢の割合となれるも之を歐米各國に比すれば尚ほ微々たるものにて尚ほ一層の奬勵を期すべしと

▲**佛内閣瓦解** 佛國内閣は愈々瓦解したる旨二十六日外務省に公電達したり

▲**日本銀行副總裁** 水町財務官は今二十七日日本銀行副總裁を仰付られたり

▲**學位授與式** 文部省は昨日一戸直藏氏外十五名に對し學位授與式を擧行したり

▲**松元間海底電信** 松江と朝鮮元山間海底電信は二十五日より事務開始したり

▲**戴冠式と紀念章** 英國皇帝陛下の戴冠式參列者に對し戴冠紀念章附與さるべしと

雜報

●**吉會鐵道起工式** 間島の領土權と交換的に獲得したる吉林會寧間の鐵道敷設權は淸國政府の財政を顧慮し着手時期を決定せざりしが長春吉林線も愈々明年五月起工するを以て北滿開發上引續き吉會線を敷設するの要あるのみならず四國借款は滿洲に於ける各種の企業を促すを以て此際我政府に於ては進んで本線の敷設を計畫するの必要に迫り過般來間島道の踏査を受け滿鐵會社よりは某技師各々親しく該線路踏査に從事し既に調査も終りたるを以て遠からず比較線路の決定をなし滿鐵會社として淸國當路者と協議の上遲くも明年秋期より起工を見るならんと傳へらる

●**道別山林面積** 農商工部實査に係る朝鮮森林山野面積を各道別に記せば如左

道	成林地	稚樹發生地	無立木地
京畿道	一二七、二四三	二九七、三一九	二九九、五三〇
慶尚南道	一三六、八一六	四八六、七三三	二二四、六四六
同北道	一二四、四六八	七六八、九六六	三七五、九二〇
忠淸南道	九〇、九〇七	一八五、四八二	一九一、二三五
同北道	八六、〇二七	二五一、六九二	二八五、三九〇
江原道	六三二、一四四	九三二、九八一	一九四、九二〇
黄海道	一一〇、四八九	七三六、九四七	一五二、四三三
平安南道	一三六、〇九七	八八〇、九七五	一八六、八二〇
同北道	八六八、八九三	八〇七、七六九	七〇八、八六五
全羅南道	五一、二六四	八七三、一四九	三四四、一五五
同北道	一三〇、〇五〇	二三三、四三二	四七、〇七四
咸鏡南道	一四六、一八八	五三一、三五三	三四七、六八〇
同北道	八六八、〇五〇	一四七、六九五	六六四、二六六

●**湖南線一部開通期** 湖南線大田連山間工事竣成し愈々來る七月十日を以て營業列車を運轉し運輸營業を開始するに至るべし、停車場は佳水院、豆溪、連山の三驛にして大田より連山迄約二十五哩にして停車場設備の如きも簡易方針を執り佳水院驛には驛員を配置せず簡易停車場として單に旅客の乘降のみを取扱ひ貨物の着は取扱をなさず列車回數も二往復に止むる筈なりと而して數年來朝鮮官民の期待しつゝありし本線初期の開業なれば鐵道局に於ても開業當日は盛なる祝賀會を催さん計畫ある由にて既に其準備に忙はしくと聞く或は寺内總督も臨場するならんと云ふ

●**渾春の貿易狀況** 渾春の貿易總額は昨年度に於て輸出入合計約二百万圓内外なりしが右の輸入地は露領吉林及我淸津雄基灣等の三方面にして雄基よりするもの二十餘萬圓を算し尚益々發展の見込あるも目下雄基灣よりの輸入品の如き殆んど支那商人の掌握に歸し且其運送も全く鮮人の勞力を用ひざる由なれば何とか之れに對し畫策を要すべしとの說あり

●**政務總監歸任** 山縣政務總監の一行は既報の如く二十六日午後八時十分南大門驛着歸任したり停車場には各部長官以下文武官民多數の出迎ありたり

●**定例長官會議** 二十七日午前十時より總督府に於て定例長官會議を開き寺内總督山縣政務總監を始め倉富、兒玉、石塚、木内、荒井、宇佐美、小松の各部長官明石總長池田遞信局長俵顧總裁小城代理列席政務の打合を爲し十一時半散會せり

●**發達せる慶北蠶業** ——農商工部當局者談—— 從來慶尚北道を以て朝鮮に於ける蠶業の好適地とし年々蠶業奬勵費總額の過半は同道に投じ全力を擧げて蠶業の奬勵に盡し普通二三の技手を派し直接指導經營に當らしめ居たる結果漸くにして其進步發達を見るに至れり全道の模範蠶業地たりと謂ふを得べし茲に客月二十二日以來本月二十三日迄一ケ月間同道各地の蠶況を視察して此の程歸任したる農商工部某當局者の本年度蠶況に就て談る處によれば

▲**蠶業指導機關** 蠶業奬勵指導機關として郡立蠶業傳習所六私立傳習所四別に最高蠶業教育機關として道立蠶業傳習所を大邱府に設置し以上の十ケ所は現に生徒二百四十餘名を收容し何れも内地人監督の下に數名の朝鮮人の助手を使役し盛んに蠶業に關する學術技藝を傳習し居れり本年度春蠶掃立量目百五十四匁なるが何れも近來稀なる好成績を擧げたり

▲**稚蠶共同飼育所** 管内二十一郡に六十五ケ所の共同飼育所を設置し稚蠶の共同飼育を獎勵したるが加入者實に一千百數十名に達し之れが掃立量目は一貫二百餘匁なるが稚育の好結果を認めたり

▲**桑苗圃** 桑苗圃は管内を通じて五ケ所に設け總反別約二町歩にして今春の養成苗木數は三十萬本なるが其の成績可良なれば尠くも二十萬本の苗木を得らるゝ見込なり

▲**蠶種の改良** 一昨々年頃より蠶種の改良を促し在來種の成熟歉殘共に良ならぬを諭し一面改良種を無料配附したる結果昨年來擧げて改良種の配付不足を告ぐるものゝ續出するに至れり尙ほ大邱の講習所に於て殺蛹場を設置し管内蠶繭及乾繭等を行ひ一方依托買等を爲し居れるが昨今の相場は一石最低十五圓より高四十五圓なり因に本年度春蠶改良種收繭豫想高一千二百石に達すべしと云ふ

●**憲兵隊長會議** 憲兵隊長警務部長會議は二十七日午前八時より警務總監部參考品陳列所に開會明石司令官警務總長は別報の如く定例長官會議に列席の爲め急に日程を變更し山形高等警察課長首席に就き藥師川京城憲兵隊長を始め咸興、公州、濟州、春川、鏡城、大邱、晉州、平壤、光州、全州、海州、義州の各隊長部長及角保安課長、中野警務課長、永谷庶務課長、楓山主計正、高橋軍醫正、太田、松村の兩副官臨時列席午前及午後共事務打合を爲したり

●**總長訓示は明日** 憲兵隊長警務部長に對する明石總長の訓示は二十七日の筈なりしも別報の都合上二十八日に變更せりと云ふ

●**勳章授與式** 二十七日午前八時より總督府に於て寺内總督より韓國に日韓併合の功により敍勳されたる石塚取調局長官以下各部官各局長に對し山縣政務總監臨席の上夫れ／＼勳章授與されたり

●**鮮人留學生規則** 二十七日官報朝鮮總督府令を以て朝鮮人海外留學生規則發布されたり

●**水産課主任會議** 漁業令實施に伴ふ施行細則其他に關し水産課にては二十六日より課内に於て各主任の會議を開きつゝあるが本日も引續き開會し居れり

●**京城の水道事務** 京城に於ける水道使用者の數は逐次激增しつゝあるが一月より五月迄に栓數二百五十戶數五百を增し本年中には栓數六百戶數千二百增加の見込なる由尙ほ從來は京城水商組合に對し二百十七栓の内百八十栓を開栓し一般の需用に應せしめつゝあるがこれまで不當の給水料金を貪りつゝあるを以て來る七月よりは一荷に付き一錢五厘を最高限と定め又十月よりは殘りの栓三十七栓をも開かせ場末の居住者へも給水の便を圖る由

●**本町通擴張期成會** 京城本町通りは日を追ふて繁華となり往來の頻繁となるに反して道路は毫も舊態を改めず曲折狹隘にして交通上危險多きを以て其筋に於ても近々道路取締規則を發布する筈なるが一方人民側に於ても二十六日夜釘本藤次郎、淵上貞助、梶原末太郎、田村義次郎、進辰馬、外三十餘名商業會議所に會合して本町通道路擴張に關して協議する所ありて道路擴張期成同盟會を組織し本町一丁目より十丁目に至る地主より委員數名を撰び各方面と交涉して本町通の取擴げを計畫する由なり

●**商議撰擧委員** 來る三十日京城内地人商業會議所議員の撰擧執行に付檜垣道長官は右撰擧委員長に京城府事務官高橋康世氏を山口太兵衞中村再造林田金次郎三氏に委員を命じたり

●**民團の委員會** 二十七日午後二時より引續き小學校新築及び道路改修問題に關する民團委員會を開く

●**仁川商議總會開期** 仁川商業會議所にては已報の如く一昨日議員の半數改撰を終りたれば來る三十日頃總會を開き會頭及副會頭の撰擧を行ふ由

●**裡里の鐵道工事** 湖南線江景裡里間の工事を請負へる小林組は工事本部を裡里に置き新后里南堂里毛仁洞白吉里の各所に建設事務所を設け日本工夫監督兒玉吉太郎外四十五名同地に入り込み鮮人三四百名を使役し最近各所に於て工事を起せり而して停車場の位置は現在裡里部落の西南約六丁位の距離あるが敷地として約八萬坪をトし九條の線路を敷込む計畫にて既に停車場の起工準備として地均しに着手しつゝありと云ふ

●**報德會の發會式** 此程來京したる花田中佐の慫慂に基き組織せられし京城報德會の發會式は二十六日午後七時より倭城臺の婦人會倶樂部にて擧行せられ來會者は菊池殖產局長小原地方局長關屋學務局長鈴木高等法院判事圓山大嶺師山口太兵衞淵上貞助氏等六十餘名にして淵上氏開會の辭に次で菊地氏勅語を奉讀し幹事を代表し池上安吉氏は式辭朗讀後花田中佐及鹿兒島報德會の祝電を披露し終つて小原局長圓山大嶺師の講演ありうれより會員一同實行問題に付て討議をなし先づ時間勵行をなすことを決し十一時過閉會す

●**朝鮮群書出版** 朝鮮雜誌社經營の朝鮮古書刊行會に於ては本月は朝鮮群書大系第二十輯として海東繹史第一を刊行しそれ／＼豫約者へ配本しつゝあり因に海東繹史は朝鮮の文物典章制度人物等を部門的に記述せるものなり

●**平南線の工事** 平南線改修工事及び架橋工事に付聞く處によれば昨今工事意外に進捗し架橋に於ては大平江赤川江旭江等何れも基礎工事は全部竣工を告げ之に要する鐵材の如き全部到着目下工夫を增加し日夜工事を急ぎをれば赤川江は本月中旬其他の大平江、旭江は何れも七月中旬には全部竣工すべしといふ

●**北鮮地方の淸國勞働者** 北鮮地方の鮮人は露領沿海州及間島地方へ移住するもの非常に多く昨年の如き約三萬人に達したるが此の他露領に出稼ぎするものありてさなきだに住民の稀少なる咸北地方は一般勞働者の減少を來たし一方内地人が淸津、會寧、羅南、間島へ入り込むもの增加すると共に貨物運搬其他に下級勞働者を要するの狀勢なるより利に敏き支那勞働者は間島方面より續々移入し來り目下淸津間島の交通ト經便鐵道の運賃比較的高價なるを從來の牛車は貨物の容積少なきに乘じ長春蒙古方面より蒙古馬を連れ來ト駄馬に使用して貨物運搬に從事するもの約五百餘頭あり之れに伴ふ勞働者又多く益々盛んに移入し來るの狀況なれば北鮮地方は鮮人を國外に出して切りに支那勞働者を迎ふるの奇なる現象を呈しつゝありと云ふ

●**柴田總裁の消息** 柴田拓殖局總裁は二十六日夜馬關に着したる旨其筋に通報ありたり

●**營林廠と内地筏夫** 鴨綠江流域に於ける營林廠の伐木狀況を聞くに本年新たに募集せし内地人筏夫百三十五名中八十名は五月中旬漸次到着したるを以て夫々上流の同出張所に配置したるが昨年拾集せし漂流木約三千連は之等筏夫の到着前移住筏夫により

談に依れば未だ曾て見ざるの好況を收めたるやにて諸高六石に上りたりと

●**釜山巨文島間直通電信** 從來朝鮮内陸と巨文島間の電信は釜山より佐世保を經由して同島に達したるも釜山を基點として巨文島に直通するの海底電線工事は此程完成し既に通信を開始す

釜山より

六月二十四日 山水道人

今夕。伏兵山麓に三聖樓主人を訪ふ。三聖樓主人は弄字と號す。天資英邁。年少にして唐宋百家の書を讀み。壯年東山學院に學んで泰西の學に通じ。仲年に及んで博く佛典を渉獵し。印度哲學に造詣する處頗る深く。爾來冊情厭離遷。或は賑良となり陳平となり。或は蕭何となつて審さに苦楚を嘗め。冊味了し來つて打成一片。圓頓渾化。機心將に盡きんと欲して道心獨り明かに天人の理を釋ねて曾つて倦まず。頭書。十年枕頭の書を抛つて決然起ち。宇宙人生の大道を說いて咳唾珠の如く。客月私財數十金を投じて大道教書を刊行し。遍ねく世に頒つて大道の宣布に努む。愚人の數く處智者の嗤ふ處。併も彼や唇頭に微笑して復讎へず。知らず彼の企圖する處や果して如何。若し夫れ彼が其濟世安民の經綸に至つては彼が黑髮白髯と化して長く膝に垂るの時。夫れ自ら明かならむ。迦孔子クリスト三聖闡繹の書なりとす。三聖樓主人の名蓋し是に起る。

公人私人

▲香川輝(慶尚南道長官) 二十六日京城ホテルへ
▲柴田榮吉(三井物産山林課長主任) 同天眞樓へ
▲櫻井茂三郎(淸州憲兵隊長中佐) 同浦尾旅館へ
▲岩元三志(法學士辯護士) 同不知火旅館へ
▲石崎直太郎(古阜憲兵隊中尉) 同山本旅館へ
▲芥川正(釜山日報社社長) 同釜山行
▲藤村忠助(京日仁川支局記者) 同仁川行
▲勝村長城(安東新聞記者) 同新義州行

仁川港出入船舶

▲大有丸 二十八日大阪より入港
▲福州丸 同 大阪より入港
▲福州丸 同 鎭南浦へ向出港

▲京龍兩驛の貨客▼

▲南大門驛乘降客 (廿六日分) 乘車客 五六五 降車客 七四四
乘車賃金 九七三、七〇
▲南大門驛貨物發着高 (廿六日分) 發送貨物 四八噸 到着 四七八
貨物賃金 八一五、一一〇
▲龍山驛乘降客 (廿六日分) 乘車客 一三三 降車客 一九四
乘車賃金 一九八、四七〇
▲龍山驛貨物發着高 (廿六日分) 發送 二噸 到着 一八
貨物賃金 五二、九五〇

▲京城手形交換高▼

六月	金高	枚數
二十七日	二五三、四一二、九四〇	八〇一

內地巡禮日記(六) 水浪生

二十二日、今日よりは筆無くして配慮の人、寢るも起きるも勝手氣儘、トは云へ歸鮮の日取もある、ソレに家族の爲に見物の案内もせねばならぬ。旅館を出てゝの第一が嚴島御本社への參詣、ソレを濟まして裏手へ出つれば御所には例の鳩の一群、餌をアサルや羽音高し、一中婆あり、鳩の餌賣を業とす、彼女余が爲に語つて曰く、故伊藤の御前は此所へ御出の度毎に、必ず餌の總仕舞をなされて、鳩を賑された者だ、御前の餌のヤリ振りは一種特別であつて、ソレは三十でも四十でもの皿を隨行者に分携せしめ、一二三の掛聲でドノ鳩へも行渡る樣に萬遍なく撒かしめらるゝのであつた、と、アー伊藤公の公平、公平は無心の鳩に餌を與へらるゝの場合に於てさへ發揮された、公の公平は全く天眞であつた。中婆の談に因れば過日見られた寺内總督の餌のヤリ振りは伊藤公のソレとは聊か違ふ樣だ、と寄語す、寺内總督閣下、閣下は鳩への餌のヤリ振りに付て閣下の先輩たる故伊藤公に學ぶの要ありと思はれざるや

▲茶袋▼

桂公が此程慶應義塾の理財學大會に於ての演說は別に取立てゝ奇とも妙とも評すべき所はないが現時の青年に對すの一場の教訓として剴切に感じられた節なきにあらず▲公は曰く今日に在りて最も缺乏を感ずるは體力の强壯なる人物、意思の强固なる人物、誠心誠意にして信頼するに足るの人物、身を以て國に許し難に當るの人物に在り云々と、聞いて何等の奇もないが、其語句の中に自から時弊に適中せるものがある▲桂公の言つた缺乏種類中、意思の强固なるものが一番に求め難い、これと云ふも自覺時代の風潮漸やく奢侈淫靡の風を馴致した結果で、現に朝鮮に來てをる青年の中にも樂に金儲けをしたい、遊び半分に給料が取りたいなぞといふ考を持つてをるものも少なくない樣だ、朝鮮に來てをる僅かな青年でさへ之であるから日本全國に亘つて薄志弱行の青年は、ウヨ／＼してをるであらう▲道樂連中に向つて意志の强固なぞ到底望まれない、隨つて誠意誠心を有し信頼するに足るべき人物に乏しきこと又一身を以て國家の重きに任ずるてふ精神の今日の青年に望み難きも自然の結果であつて洵に痛嘆に堪へないことである▲桂公の演說は眞に青年の服膺すべきであるが、吾儕が茲に一言公に呈したいのは、現代社會に於ける不眞面目不誠實は今日の青年をして如斯頽落さしたのは最も力あることを公に覺つて欲しい事である、今日の所謂政治家大官富豪紳士と云ふ者が如何な行動を爲しつゝある乎を考へてもらいたいのである、青年よりも一層此連中に戒飭を加へることが必要ではあるまいか▲福井の前藩主松平康莊侯農藝に多年盡瘁せし功を以て金杯及藍綬褒章を賜はった、當今の如き官吏の勳位が一向難有くない時に、此藍綬褒章こそ眞に榮光を添ゆるものである。

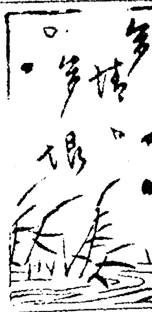
●相場電報 (明治町四村支店着)

電話不明

●大坂期米電報

月出來不申

●仁川米豆取引所



京城 藝妓の半生（四五）
菊家 文之助（六）

彼れ文之助が看護婦となつたのは實に如上の始末で實に失戀の結果である、一度戀に破れたものは再び戀を味ふ勇氣は無い、否、他の戀さへ見て居られぬ小說も夫れのは讀む氣にならぬものだ、遂げた戀は羨ましく破れた戀は堪られぬ苦みの思出となるからだ、彼れは其の初戀に敗れた身と心を看護の職に投した。精する程に給料も増されモー半年もすれば助產婦の資格も得られ如と云ふ時も時、噂は遂に事實となつて日露戰爭は起つたので篤志看護婦の方へは夫れ〴〵從軍の命が下つたので孰れも勇み立つて出發するのを、眼前に見る彼が氣質として沈として居られない何うか從軍させられたいと嘆願したけれど產科專門に教育されたものだからとて許されない、少し外科の方の教育を受けての上で歡話を爲樣と云ふことであるから一所懸命に勉强して其の命令の下るのを今日か明日かと待つて居たのだ、然るに彼れの此の目的は或る事情の爲めに無餘儀も中止せねばならぬことに成つた或る事情とは日露開戰以來日本內地…取り分け田舍の方は不景氣で實家の方が一進も三進も行かぬ如になつて其の母や弟妹やが糊口にも窮する段になつたので何うでも歸宅の上始末を附けて與れと云ふのである、如何にも殘念ではあるけれども棄ては置けぬ泣く〳〵旅費の支給を受け一度廣島の實家に歸つて相談の上再び廣島の篠原券から藝名も以前のまゝ文之助で左褄を取る身となつた時に二十一の十月、其の當時は未だ短かし色は黑しで近所の子守女や若い衆抔は「篠原の文之助さりとは黑いね」なぞと東雲節か何かで冷評したものでわつた、何にしろ容色は御覽の通り美人で無い所へ頭髮に小付け色は黑し頭髮は短かし、中には以前の大尉との關係を知つてるものもありするから普通で賣り出すことは覺束ない何かな一つ奇拔な事をと考へた末が日露戰爭の最中とて人の氣が立つてる處へ見込みを附けて荒川と云ふ壯士俳優を師匠に劍舞を習つた元來斯う云ふ畑に出來て居る彼れの体格氣質であるから其の上達も素晴らしい僅かの間に師匠荒川も舌を卷く程になつたので此れなら大丈夫と夫れを招牌に打つて出た、他土地は前述の通り不景氣であつたが廣島は軍人の往來滯在等も多かつたので却々の上景氣、ドクンバタンギックリの挨り即きも却つて何うか宜いのでれ客樣の御氣に入つて貰れる〳〵目の眩る程に賀れたけれども何分彼れは母や弟妹を養ひ且つ教育する義務を持つて居るので借金も多額にあり貰つた花も右左りに運ばねばならぬのだから其の苦しさつたら無いのであつた。

新町遊廓の紛擾

▽道路及病院問題にて

新町遊廓に於て今般小料理屋側の新移轉者側と舊組合側とに悶着起り一歩進まば血の雨降らんとする勢ひなる由聞知したる探訪は直ちに事實の眞想を探りたるに風紀取締りの爲め市內に散亂し居たる小料理店集中命令と同時に遊廓地域擴張問題となり以來新町側に於ては營業樓主塚崎京城樓主酒日事務所の近藤等東西に奔走して新移轉者側の便宜上に極力運動を爲し敷地に新築に一時は寢食も忘れんずる許りに熱心運動の結果舊組合も運よく運び今日にては八歩通りの落成を見るに至れるのみか其內六軒は既に開業し居る始末なれば悶着など起る筈なきが其噂の原因は擴張の許可下り敷地均しの當時道路を本町九丁目より新町一丁目即ち大和町に通ずる道路に一直線にせしならば便宜なる可しと警務總監部付憲兵中尉兪警視の高田某氏が通行の際何某かに話したる事ありしとかにて移轉者側にては該道路は一直線になるべきものと信じ居たるに中央より橫切り新派出所前に通じ九丁目の方は石垣を以て絶ち斷りたる爲め本町通より來る客の足場は頗る不便になりし事が一つ、モ一つは新町病院が現境の儘にては患者の收容出來ざる爲め增築問題起り民團に請願の結果民團に於ては民會の議に付したり然るに民會に於ては右は是迄の十二軒の遊廓に對して經營せる病院なれば新に移轉したる二十四軒に對しては民團とて義務なきのみか豫算もなく且つ民團存在問題も解決せざる位の今日殊に現民團としては遊廓なぞの問題に取り合ふ餘裕なし現に教育問題に付ても二部教授迄爲し居る位なればとて大多數を以て否決されたる事を夫れと知らぬ新移轉者側に於ては舊組合にて新移轉者側を困らせん目的にて運動したるが爲めなりと曲解し舊組合側に加入せず全然獨立して反對す可しと種々なる計畫をなすに至りしより事態穩かならざる勢となりしものなるが舊組合側に於ては元より如斯魂膽なきより成るべく圓滿に解決する機會を開き民團に向ひ病院を新町遊廓に下付さるゝ樣請願して相當の所置を爲す可き準備中なれば近く無事解決を見るべしと云ふ

●悔悟の自白（十）
金波校

するときもの包をもつて出て行た其時の妾しの口惜しさ命から二番目の衣類をしかもいゝの斗りよつてみんなもつていかれた妾しの胸の中はお察しくださいいかに妾しが不良にしろあんまりざんこくではありませんかただくやしいとなさけないとで病人のように喰す飲ずで一日ひとばん泣くらしたよ其わけての日の正午時分に又酔て歸つて來て何かこそ〳〵自分のものをかたづけたり妾しのものをしらべたりして居たが其時にはもうあきらめて居たからなんにもいはずに泣はらした目を伏して居た川林はやがて表を通る人力を呼び二ツの柳行李を積ませてから妾の枕許へ來てれは是から航海で又乘込むから二週間斗り留守になるその間にまた例の病が起るだろうが命だけは貴樣に預けて置ぞと憎く憎くしい捨言葉の上に洋杖で脊中と腰をいやという程打つて出ていつて仕舞つたからようやく起き上つて妾のものをしらべてみたら小素著のつまらないもの計りのこしてあとはすつかりれのれのものと共に持出し行かれたのであまりのことに妾しはうこへ倒れて泣た生れて初めてこんな目に逢たので女は衣裳を生命として居る位で妾が丹精をしてこしらへて虎の子の樣に大切にして居たものを悉皆持て行かれたのだから病氣になるのは當然さ殘念で口惜しくなつてどう〳〵床に就たのうちすると丁度れりよくチヤブヤで働いて居る妹が尋て來て與れたのでだん〳〵わけをはなして共に泣いてくれたの仕方がないから一日二日傍に居て世話をして貰つて居るうちに病氣も全快したのでつら〳〵越方行末を考へるも迚もこんな家に居て虐待を受けていたら身体もつゞかぬいつそ今のうちに飛出してひと稼ぎしてせめて一枚のものでもこさへるのが得策だと思ふとすんだことは諦めも早くすぐ其日から友達の家を廻りて思ふ仔細をうちあけ万事のことを頼み夫から衣裳は死斯入の粗末なものだが顔だけは特別念入りの厚化粧で毎日夜になると花隈町長狹通、三宮、生田、元町を曖昧ものゝ巣を作つて居る處を根據として巡回出稼をして見ると對手は多いもので世界中の供給に應ずるからコンミッションは取られても莫大の收入がある

●入獄志願の旅人

二十七日午前十時頃一人の男南部警察署に出頭し司法係りに面會を求め私は東京市淺草區田島町一丁目百十六番地小間物商伊藤末次郎（三五）なるものなるが本月二十二日午後十時頃淺草公園に於て破落漢三名と出會し喧嘩の末其の內一人を小刀にて殺害して現場を逃走せし者殊に前科として賭博の曲者に付相當の處罰を求むる爲め自首したる旨申立てたるも如何にも不審にて借を措き聽きより東京の各新聞を見しに如斯事實なきより嚴重に訊問せしに右は僞りにて實は名古屋市西區四丁目二十二番地履物商伊藤末次郎と云ふ者にて商賣に失敗し親族に多大の迷惑を掛けたるのみならず妻との間に子供三人ありしに內二人迄腦病にて死亡せしより世を悲觀して家出し當地に來りしも旅費一厘もなくなりしより監獄の厄介にならんとて右の如く申出でたる事判明せしより一方原籍に照會し保護留置中なりと

●運輸會社長の詐欺
京城

水陸運輸會社長元逸及會計役李願植は昨年十二月金鶴植なる者に百五十圓を出金すれば同會社の元山支店長に採用すべしとて內金三十圓を受取なから又劉智騰なる者よりも同支店長に採用することを約して百五十圓を詐欺し本年五月に至り金鶴植より殘金百二十圓を騙取したることを其筋にて探知し去る二十四日京城地方裁判所檢事局へ送りたり

●鷄二羽を强盜
佐賀

縣佐賀郡川上村大字久留間二百三十四番地當時住所不定鶴尾元吉（三九）は本年三月二十四日忠淸南道公州郡要堂面水村里酒幕尹元京方にて懷中無一厘にて飮酒し酒代を請求せられ所持金なきに付朝鮮鳥を銃殺して來てやると屋外に出で同所金相根宅前にて飼養の鷄二羽を射殺したるより其の筋に强盜及詐欺取財犯として檢擧され第一審及第二審とも有罪となり尙は不服として上告申し立てたるより高等法院に於て岩野判事裁判長となり鈴木石川兩判事陪席檢事立會不日公判開廷せらる可しと

●藝娼妓の檢黴統一

衛生取締の爲め近く藝妓の健康診斷を行ふことになる由は既報したるが藝妓の健康診斷を行ふに就ては其衛に當るべき醫師を撰定することに緊急なれば其筋に於ては衛生の取締上健康診斷方法を統一する必要を認め先づ手始めとして從來民團に於て施設したる新町桃山遊廓に於ける娼妓の健康診斷は二十七日より警察の手に於て行ふことになりたり

●自殺を豫報す

咸鏡南道利原郡の郵便所長山崎保が公金二千六百圓を强奪せられたりと其筋へ訴へ出たることは既報したるが同人は去る二十四日「多額の金を辨償することは不可能なるに依り自殺す」との遺書を殘して行衛不明となりたり

●恩を仇なる雇人

原籍山口縣下關市唐戶町十番地松次郎四男栗根金藏（二四）は仁川花房町二丁目運送業亡小宮山角次郎氏方の店員なりしが本年三月同氏死亡せしより閉店することゝなり同時に解雇されしが同店勤務中百八十餘圓を費消し居りしにぞ公沙汰とならんとせしを同京城本店の主人が聞きて不便がり出金して無事に納めたり去る五月に入りて更らに仁川支店を開店することになりしにぞ金藏を引き上げて支配人とし資金一千四百圓を送附せしに金を抱いて罪作る若者の例に洩れず一山樓の娼妓鶴松の許に通いて大部分を蕩盡したること主人及び金藏の兄の某（在京城某吳服店主）の耳に入り兄の某は意見の爲め下仁せしに何う金藏に說き附けられしが同道して一山樓に流連した笑止さ尙は金藏は他店名儀を以て數ケ所にて金員を騙取し悉く鶴松の許にて消費し居ることを二十三日本店主の告訴に依り坂下今井兩刑事取り押へ取り調べしより判明二十六日檢事局に送られたり

●行路病者の收容

山口縣吉敷郡仁保村須子久米槌（三八）は先年渡鮮し一定の住所もなく石工を職として其日を送り居しが去る四月中より脚氣病に罹り其爲饑餓に迫りしが同人は內地にも近親の緣者なき爲此程龍山憲兵分隊に保護願出で同隊より行路病者として京城民團龍山出張所へ引渡したり

●壽座のぞ記

久しく不振の狀態に陷つて居た京城演藝會も今回大阪歌舞伎片岡松之助一行の乘込と共に頗る景氣付て來た此大一座を迎ふる壽座は還暇內部の大修繕に勤め殊に大道具小道具萬端も在來のトンチンカンの物は用ひない總て新調各場面其目先を變へて見せた爰に於てか永らく拙いものに厭いて居た好劇家は見ずんばわる可からずで我も我もと押掛くる初日以來連日の大入にて札止の盛況とはたいしたものだ予は松之助獨得の義士劇なるものを見ずして五日目の代り狂言を見た當日の藝題は前狂言として「實錄千代萩」大切に「怒飛脚大和往來」忠兵衛封切の一場で一座大車輪に近來にない面白いれ芝居を見た爰に各役々に就て噂評を試みよう。松之助の原田甲斐無論わるくは言へぬ達者な人見た目も立派落着もあり貫目も充分にして確かに其人を得た敵役であらう此優目の配が頗る巧い所謂眼のきく人だ此役上出來。長太郎の荒木和助衰めて言へば通、還可もなく不可もなし五幕目田村屋敷守牢屋の場で毒害されて悶へ死にする處毒の効めは早すぎたが永い間の苦みに感興をそいだ。飛雀の松前鐵之助之と言つて褒め場も無いが先上出來の部である。卯左衛門の水戶光圀若輩でいけぬ。奧山の紳並六左衛門押出が立派で臺詞もキリ、として能く相撲上りの武士を遺憾なく發揮せられた六幕目の水戶街道場光圀公の御前にて胡亂の者として詮議を受け遂に白狀に及ぶ所があるがいくら根が匹夫の身の上だからと言つても餘りに御前に於ての不作法さ少しは謹んで然るべきと思ふ時柄口調が新派じみるのも亦惡い癖だ。左衛門の淺岡品格充分澀いもたつぷりたるは此優の長所であるチヨボへ乘つての科もわるくない松之助の片倉小十郎との呼吸も能く合ひ翠松の鶴千代君松山の千代松共に可憐にて上等の出來ばへで一層哀愁の思ひを深からしめ思はずホロリとした要するに此一場だけが實に價値あるものと思はしめた。切の梅忠井筒屋の場は陽氣なれ彩のもとに幕あきとなつて華かな場面と一變した。松之助の忠兵衛どうやら勝手の違つたらしく存外感服せぬ梅川に對する色氣も乏しく昧がない通じて能く演ては居たが差引不出來。左衛門の梅川根つから振はず淺岡をした人と思はれぬ不出來。松十郎の土屋治衛門押出は立派で調子も好いが下司に目がギロつくのは此優の損である。卯左衛門の井筒屋れゑんは好く此優の柄に嵌つて科も上乘先づ女形を以て立つたなら不端であらう他は評に及ばず要するに此一幕は之と言つて褒め場がない案外つまらなかつた（瑞夢）

●演藝だより

●壽座 片岡松之助一行二十八日の藝題は昨紙所報の如く前「鎌倉三代記」時致館の場より三浦之助別れの場までに中狂言「三日月治郎吉」全十一場切りは「縮遣娘」にて輝寸方は當地藝妓十餘名にて相勤むべしと云ふ

●浪花館 合併演藝會廿八日の演し物兵庫船（枝鶴）壽うつぼ猿（枝ケ吉）角力芝居（枝三郎）猪買ひ（圓三）こり角力（芝鶴）小督局（駒彌）禁酒關所（福圓）紐の會見（柳丈）音曲（ジョンベール）

●相場電報（廿六日）
（別府町西村支店著）

▲綿絲 寄付 引 ▲東京電燈 寄付 引 ▲東京電鐵 寄付 引
▲大阪 寄付 引 ▲株式 寄付 引 ▲電燈 引
電話不調

●大阪期米電報

●前場六月寄十七圓四十錢▲止十七圓四十九錢▲七月寄十七圓六十四錢▲止十七圓六十二錢
●後場六月寄十七圓十九錢▲止十七圓五十一錢▲八月寄
七月寄十七圓六十六錢▲止十七圓七十錢
十七圓六十四錢▲止十七圓六十八錢

●仁川米豆取引所

●前場六月寄十一圓五十錢▲最高十一圓五十一錢
月出來不申
●後場寄十一圓四十八錢▲最高十一圓四十八錢
最低十一圓四十錢▲止十一圓四十八錢